

東京工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	日本史
科目基礎情報					
科目番号	0004		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教育科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	詳説日本史B (山川出版)				
担当教員	浅野 敬一, 村瀬 智之, 岩立 将史, 山田 康弘				
到達目標					
①国際社会で生きる技術者として必要な、近現代史を中心とした日本史の基本的知識を身につけ、②自ら課題を設定して調査し、自分の考えをまとめて発表する能力を養う。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	近現代史を中心とした日本史の基本的知識を十分に身につけている。	近現代史を中心とした日本史の基本的知識を身につけている。	近現代史を中心とした日本史の基本的知識が不十分である。		
評価項目2	自ら課題を設定して調査することができ、それをまとめて発表することが十分にできる。	自ら課題を設定して調査することができ、それをまとめて発表することができる。	自ら課題を設定して調査することができない。		
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	近現代を中心とした日本史の知識を身につけ、自ら課題を設定して、資料を取捨選択しながら客観的に考察して分析し、発表をしていく、積極的な取組が求められる。このような教育を通して国際社会に主体的に生きる日本人技術者としての資質を養う科目と位置づけられる				
授業の進め方・方法	上記の目的を果たすために、前期は通常の日本史の授業を行い、夏休みにレポートを課し、後期の授業では通常の授業に交えて一人一人がレポートを発表する演習形式をとる。				
注意点	必要に応じてプリントを配布するので、なくさないようにすること。なお、課題発表をきちんと済ませなかった場合は、学年末評価が単位不可となる。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		
		2週	戦国時代の日本1		
		3週	戦国時代の日本2		
		4週	戦国時代の日本3		
		5週	江戸時代の日本1		
		6週	江戸時代の日本2		
		7週	明治維新と日清・日露戦争1		
		8週	明治維新と日清・日露戦争2		
	2ndQ	9週	明治維新と日清・日露戦争3		
		10週	明治維新と日清・日露戦争4		
		11週	太平洋戦争への道1		
		12週	太平洋戦争への道2		
		13週	太平洋戦争への道3		
		14週	太平洋戦争への道4		
		15週	レポートの書き方		
		16週			
後期	3rdQ	1週	太平洋戦争の敗戦1		
		2週	太平洋戦争の敗戦2		
		3週	太平洋戦争の敗戦3		
		4週	太平洋戦争の敗戦4		
		5週	学生によるレポート発表1		
		6週	学生によるレポート発表2		
		7週	学生によるレポート発表3		
		8週	戦後の日本1		
	4thQ	9週	戦後の日本2		
		10週	戦後の日本3		
		11週	学生によるレポート発表4		
		12週	学生によるレポート発表5		
		13週	学生によるレポート発表6		
		14週	学生によるレポート発表7		
		15週	学生によるレポート発表8		
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合				
	試験	発表とレポート	小テスト・提出物等	合計
総合評価割合	60	30	10	100
基礎的能力	60	30	10	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0